

と失ひ敗走し、越後勢道を塞ぎ、取巻く討取れ、
常呂虎之助も数ヶ所の手原にて今、働る所を、是
迄より、腹を切て死せし者、その中に右馬頭何れか
思ひえ首を引提げ、千早川を渡り、款の中をかき分
け、只今川端より右馬頭を討取て、大將の実擒に
入せんと、言ふ者、いかに、手柄由り、成り、中を明け
て通し、大將重長の前に近付やい、あや持する首を
投付けて走り、かり、重長の生、甲丁と切付、左の身
を切込、より、るを、逃るの者、は、驚き、前後左右より取巻
散く、討取れ、まゝ、く、に、切られて失にける、新て重長危

き、取を逃れ、右馬頭首と、太刀を上杉殿の実擒に入れ、
ける、打殺されし、兵將時の戦ひ、五千七、騎討死し、越後
勢も八十余人死したり、け、此時、天正十七年秋
千早川戦より、傳ふる、あ、の戦ひの、事あり

義光物語に云、東海寺右馬頭、常くる、太刀、相州
正宗の銘、誂、も、長き、尺七寸、是を、上杉景勝、上、中
景勝より、太田房吉、公へ、上る、後、徳川家に、傳りて
今、紀州家に、傳、る、事あり

其、橋山軍、并、朝日山、奈良、橋、陣、事

一、去程に、中山、玄、番、女、番、の、諸、人、を、取、上、り、送、り、て、以、度、軍